

国際 PBL with OIT@TAIWAN TECH

「おーか・なう No.11」で紹介した“国際 PBL with TAIWAN TECH@OIT”(8月 20-26日)に続き、8月 29日～9月 3日、今度はメンバーを一新した応用化学科・学部生 15名が訪台し、台湾科技大学で第 5 回目となる国際 PBL プログラムにチャレンジしました。

初日は折からの迷走台風 10 号接近の影響もあって、台北へのフライトが 2 時間遅れとなりました。そのため、ウェルカム・パーティも 20 時スタートとなりましたが、たくさんの台湾料理に舌鼓を打ちながら英語を介しての学生間の交流は遅くまで続きました。

共同実験は、まず「アクアセル」の作製で肩慣らし。その後、日台混合編成 15 ペアチームで PBL 課題である「量子ドット太陽電池の作製と特性評価」に取り組みました。OIT の学生たちは、TAIWAN TECH 学生の実験に対する集中力を肌で感じた、と一様に語っていました。日が落ちると、グループごとにキャンパス周辺の夜市に繰り出し、夕食を楽しんだようです。課題をやり終え、ペアごとに英語で成果発表を行いました。双方のサポート教員は、両校のペア学生が準備したスライドを使って堂々とプレゼンする姿に感動を覚えたそうです。

プロジェクトの間には、TAIWAN TECH 側の計らいで、故宮博物館や中正記念堂など台北市内見学、行政院原子能委員会核能研究所見学とスマートグリッド研究などを紹介してもらった機会もありました。

5 日目の最後には、参加学生全員に Certificate of Completion (修了証) が授与され、手作り台湾春巻や臭豆腐を味わいながらのフェアウェル・パーティでプロジェクトの成功を祝し、来年の OIT での再会を約束してお開きとなりました。OIT からの参加学生は、ひとまわり? 成長して 9 月 3 日に関西空港に無事降り立ちました。

OIT & TAIWAN TECH の化学を通じた国際交流はこれからも続きます! 再見!



ウェルカム・パーティで自己紹介



量子ドット太陽電池の作製の様子



中正記念堂@台北



プレゼン終わって、ハイ! ポーズ!